

千代田中学校のプールでの授業実施の検討について

河内長野市立千代田小学校
校 長 佐々木 盛文

今年度、もしくは次年度も含めて、プールシートの剥離状況から、本校のプールでの授業実施ができません。代替案として、9月に千代田中学校のプールを使用して授業が可能かどうかを、校内及び市教育委員会とも協議して現在検討している段階です。

夏期休業中、7月21日(火)に小学校の教職員で現地調査を行い、実施可能かどうかの会議を行う予定となっております。令和6年7月5日に起こった高知市立長浜小学校でプールの授業中での事故の報告書より、「小学生児童の授業を安全に実施できるか」を議論した上で実施の可否について決定いたします。とくに、事故の大きな要因となった水深に関しましては、授業を実施する場合、児童の成長段階における適切な水深を保ちながら授業を行うことを徹底します。

※参考 適切なプールの水深の考え方

対象学年	児童の平均身長(目安)	適切な水深
低学年(1～2年生)	約110cm～115cm	60cm～70cm
中学年(3～4年生)	約120cm～130cm	80cm～90cm
高学年(5～6年生)	約140cm～150cm	95cm～110cm

○千代田中学校のプールの水深について



プール	プールの中心部の水深	プールの両端の水深
本校(千代田小学校)	0.9M	0.8M
千代田中学校	1.2M	1.0M

中央部で30cmの差±、端で20cmの差±があります。授業を行うと仮定した場合は、満水状態から水を抜いた状態にし、最大でも水深を中央0.9M、端を0.7Mとします。

中学年、低学年で実施する場合は、小学校で通常通り授業する場合と同じように、表や児童の身長群に応じた適切なプールの水深、技能面を考慮した指導方法とします。さらに、プールへの入水の際には、小学校との高低差があるため、側面の片側にはプールフロア台を常時敷き詰めます。

フロア台の大きさは、
たて×横×高さ＝300×100×40（cm）
となります。現段階では南花台小学校のプール、および保管庫にありますが、必要分をすべて千代田中学校へと移動させます。



※一部 2 台重ねて、低学年がよりスムーズにプールに出入りすることができる運用を計画しています(40cm+40cm) 〔階段状にして地上120cm→80cm→40cm→プール床〕

○千代田中学校のプール、その他の施設について



男子更衣室、女子更衣室ともに 60 近くの棚があり、一斉に着替えることが可能です。あまりにも手狭になる場合は、目張りをした上で千代田中学校 1F 空き教室を更衣室として利用することを想定しています。シャワーや男女別のトイレも設置されています。プール片側にひさしがあり、テントを張ることなく日陰で待機することが可能です。

○9 月実施の方向性について

現段階では、「小学生児童の授業を安全に実施できるか」の検討段階となります。夏期休業中、7 月 21 日(火)に小学校のできるだけ多くの教職員で現地調査を行い、検討会議を開きます。実施の可否につきまして、あらためて tetoru 等を通じて連絡配信となりますので、ご確認いただきますようお願い申し上げます。